

科目名	レクリエーション演習Ⅱ						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	2	後期			
担当者名	弘中 陽子	関連する資格	レクリエーション・インストラクター資格 必修 公認障がい者指導員資格 必修 保育士資格 選択				
授業概要 レクリエーション演習Ⅰでの学びを踏まえたうえで、想定した対象者への実践を通してレクリエーション支援者、及び障がい者スポーツ指導員としての支援技術ならびに支援方法を学ぶ。							
到達目標 ○対象者に応じた支援の方法を修得する。 ○対象者に応じたレクリエーション活動のアレンジの方法について理解する。 ○対象者・目的に応じた様々なレクリエーション活動を活用した指導案が作成できる。			成績評価方法 ・遊びのノート ・グループワーク ・授業態度・参加度 (学外活動での取り組み等も含む)				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			30
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			40
授業態度・授業参加度	○	○	○	○	○	○	10
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○	○		20
演習							
実習							
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1) オリエンテーション(授業概要、進め方、評価方法等ガイダンス)							
2) 対象者に合わせた活動のアレンジ方法①							
3) 対象者に合わせた活動のアレンジ方法②				グループワーク			
4) 乳幼児を想定したレクリエーション活動の体験①							

5) 乳幼児を想定したレクリエーション活動の体験②	
6) 児童を想定したレクリエーション活動の体験①	
7) 児童を想定したレクリエーション活動の体験②	
8) 児童・障がい児（者）を想定したレクリエーション支援の実施① (パラスポーツレクへの参加)	
9) 児童・障がい児（者）を想定したレクリエーション支援の実施② (パラスポーツレクへの参加)	
10) 児童・障がい児（者）を想定したレクリエーション支援の実施③ (パラスポーツのふりかえり・障がい者のスポーツについて)	グループワーク
11) 対象者に合わせた活動のアレンジ方法 (障がいに応じたスポーツの工夫・全国障害者スポーツ大会の概要)	
12) 地域の子どもたちを想定したレクリエーションプログラムの企画①	グループワーク
13) 地域の子どもたちを想定したレクリエーションプログラムの企画②	グループワーク
14) 地域の子どもたちを想定したレクリエーションプログラムの実践	グループワーク
15) 企画したレクリエーションプログラムのふりかえり レクリエーション支援者としての今後の課題	グループワーク
授業外学習	
<p>・地域で行われる活動に積極的に参加し、できるだけ地域の子どもや障がい児(者)と関わる機会をもちましょう。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<p>・資料配布 ・テキスト：「楽しさをとおした心の元気づくり レクリエーション支援の理論と方法」(日本レクリエーション協会) ※レク・インストラクター資格取得希望者のみ</p>	<p>レクリエーション概論 レクリエーション演習 I レクリエーション実習</p>
備考	
<p>・運動の出来る服装、室内シューズ、髪は束ねる等レクリエーション支援者として、ふさわしい身だしなみを各自心がけること。</p> <p>・遊びのノートを1冊作成します。詳細は、授業内で説明します。尚、このノートは評価対象です。</p> <p>【オフィスアワー】 弘中 陽子 hironaka@ube-c.ac.jp</p>	